



“私の挑戦”

ビジネスプラン誕生の裏側

受賞企業紹介

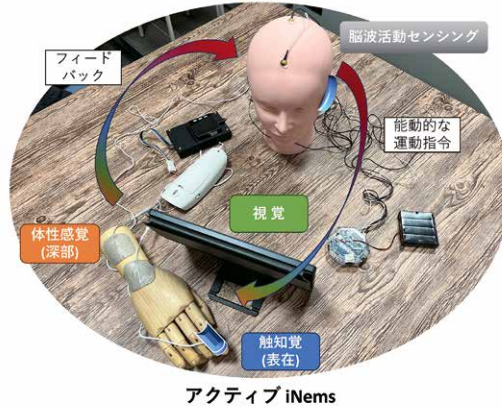
第4回 チャレンジ部門 優秀賞 受賞

あまね

「弱い立場の人たちを遍く照らしたい」

“触覚”を通して麻痺の克服を目指す

新しいリハビリシステム「アクティブiNems」



アクティブiNems

私が最初に勤めた呉服業界では、職人が手で触って布等の風合いを主観的に評価していました。1990年に先輩に誘われ、“触覚”を客観的な数値データに置き換える技術開発を行うベンチャーに転職し、感性を可視化する世界に入りました。当時、私が開発に携わった「iNems」は今でも国内外の大手繊維・製紙・化学メーカーで“触覚の良さ”を評価する際に活用されています。また大手化粧品メーカーと共同で開発した、化粧行動の数値化やパッケージの密封性を計測するシステム「Haplog」は、グッドデザイン賞も受賞し大ヒット商品になりました。

その後、会社の経営方針の変更もあり転職。そこで、パーキンソン病や脊椎損傷等で立位姿勢が不安定な人向けのリハビリ機器の販売担当として、製品の医療機器認証や医療機器製販業の許可を取得しましたが、医療・リハビリ業界の製品開発の重要性に気付くきっかけとなり、今の私のモチベーションの原点となっています。

新型コロナウイルスのデルタ株で重症化し、一時は命も危ぶまれましたが、なんとか生還。「助かった命で社会へ恩返し

を」と思いを強くし、2021年に

独立を決意しました。長年携わってきた「触覚・ハプティック」と、社会弱者と言われる立場の人たちへ光を照らすことのできる製品を開発したい思いから「遍在・ユビキタス」を合わせ、「ハプキタス」という社名をつけました。

今回受賞した「アクティブiNems」は、

麻痺した手指等の動作の回復を目的に腕に筋電センサーや指に振動検知センサーを装着し、検知した信号と動かそうとする意思を脳波で計測し、感覚フィードバックデバイスからリアルタイムに画像・音声・振動等、多感覚の刺激を伝えることで巧緻動作や触覚を蘇らせることができる装置です。個人差はありますが、このリハビリによって脳の神経回路が繋ぎ換わり、麻痺した指でも「触っている」と感じられるようになります。機器の価格を抑え、感覚のリハビリを必要とするより多くの方々にお届けすることが今の目標です。今後とも「すべてに触覚で喜びを」を目的に、痛み・可視化等、感覚の可能性を拡張していきます。

ビジネスプランの詳細はこちら



代表取締役
和田 潤

ハプキタス株式会社

京都市伏見区桃山町西尾37 402号

TEL 090-3674-5093

<https://hapkitous.jp/>

プロフィール

触覚技術や脳波解析の長年の経験を基に、2023年に医療リハビリ・触覚技術ベンチャー企業を設立。中枢性疼痛の診断支援デバイス「Pain Compass」やリハビリテーション装置「アクティブiNems」等、医療・リハビリ分野における革新的なデバイス開発を推進。資金面では補助金、技術面では産学連携を活用しながら患者や医療従事者に必要とされる医療機器開発に尽力している。

プラン名
多感覚刺激イメージング
フィードバックシステムの開発

京商の支援

同社の取り組みを広く発信するとともに販路開拓の実現に向けて二人三脚でサポートします。



代表取締役
佐藤 貴彦



代表社員
北山 浩

株式会社 佐藤喜代松商店

京都市北区平野宮西町105
☎ 075-461-9120
<https://urusi.co.jp/>

プロフィール

1921年創業、漆精製業を営む企業の四代目。2000年から2年間、青年海外協力隊員としてエルサルバドルで活動した経験を持つ。京都府立大学大学院農学研究科博士後期課程を経て、2011年に代表取締役就任。西陣織に使用される金銀糸や引箔用の漆や、型友禅用資材を長年供給。京都市産業技術研究所との共同研究で三本ロールミル精製法による「MR漆」や薄膜旋回分散漆「黎明」を開発、漆の利用範囲を広げる。漆の科学的分析から漆の特性と文化性を捉えた新しい「漆×○○」を展開し続ける。

合同会社 COCOO

京都市北区平野宮西町105
(株式会社佐藤喜代松商店 内)
☎ 050-5605-5012
<https://co-coo.jp>

プロフィール

1970年生まれ。神奈川県出身。大学院修了後、総合電機メーカーの研究開発、家電メーカーでの商品企画に携わる。大きな組織での理想のもののづくりの難しさを実感する中で、次世代に続く本質的な仕事をしたいという想いと、魔法瓶好きが高じ、2022年にCOCOOを創業。日本の工業・工芸のもののづくりにおける新たなビジネスモデルの開発に注力している。

プラン名

伝統色の漆が彩る!

何度も修理可能な魔法瓶タンブラーの商品化



第4回 コラボレーション部門 グランプリ 受賞 何度でも「リペア」できる! 魔法瓶構造の天然漆コートタンブラー「KISSUL」を 軸に、漆の技術・伝統・文化を京都から発信!

どのような挑戦がありましたか?

北山代表社員(以下、北山) 元々大手魔法瓶メーカーに勤めていました。魔法瓶は3年程度で塗装が剥げ劣化するのですが、「魔法瓶には未来がある」「より自由に、永く愛されるものを作りたい」との思いから、魔法瓶構造で全面に天然漆をコーティングしたタンブラー「KISSUL」を考案しました。

通常、漆を用いると全工程に約1ヵ月かかるため量産には不向きなのですが、焼付技法なら可能であることが分かりました。商品化にあたり、各地のいろいろな漆業者に断られ、辿り着いたのが佐藤喜代松商店でした。

佐藤代表取締役(以下、佐藤) 「南部鉄器のような質感」で漆を全面コーティングしたステンレスタンブラーを量産したいという依頼でした。弊社は、大正10年創業の漆の専門会社で、西陣織の着物やアパレル製品から生み出した発色の良い100色以上もの色漆を扱っています。南部鉄器等で施される焼付技法では、高温焼付のため黒以外の色は出せませんが、低温での焼付により色漆の特徴を生かしたカラフルな「KISSUL」が完成しました。

今後の展望や課題は?

北山 「KISSUL」は公的研究所で検査を受けており、品質には自信があります。また、どの職人が作ったかが分かるように各商品にロット番号を刻印しており、万が一漆が剥がれた際にはリペアサービスも提供していますので、未永く愛用していただけます。

佐藤 今回の受賞をきっかけとして、伝統と文化を背景に、人と技術が行き交う西陣で培った京都の漆の魅力をも、広く発信していきたいです。
北山 紙コップに漆を染み込ませ、1年ほど使用できる新商品を開発しました。今後は漆を主軸に据え、2025年1月に佐藤さんと共に開設した新拠点から「漆」と「ものづくり」の魅力を伝えていきます。

👑 ビジネスプランの詳細はこちら



京商の支援

新商品開発から販路開拓まで、両社が進める新しい取り組みをさまざまなメニューを活用して応援します。

